

2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 初穂商事株式会社
 コード番号 7425 URL <http://www.hatsuho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 悟
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理室長 (氏名) 成田 哲人
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 052-222-1066

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	14,448		271		333		159	
2019年12月期第2四半期								

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 198百万円 (%) 2019年12月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	195.48	
2019年12月期第2四半期		

前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しておりますので、2019年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	17,327	7,375	37.8
2019年12月期	20,154	7,297	32.2

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 6,556百万円 2019年12月期 6,489百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		100.00	100.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				130.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	32,500		700		780		390	476.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

前連結会計年度は連結財務諸表の作成初年度であり、連結子会社のみなし取得日を連結会計年度末日としているため、対前期増減率及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	870,165 株	2019年12月期	870,165 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	51,777 株	2019年12月期	51,687 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	818,423 株	2019年12月期2Q	818,560 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により国内外の経済動向が停滞したことに伴い、景気は極めて厳しい状況となりました。

建設業界におきましては、公共投資においては底堅く推移し、民間投資においては、企業収益悪化や先行き不透明感の高まりにより、設備投資は減少傾向となりました。また、労働力不足を背景とした各種コストの上昇も続いており、厳しい経営環境が継続しております。

このような経営環境のなか、当社グループにおきましては、連結グループ経営が本格スタートし、「内装建材事業」、「エクステリア事業」、「住環境関連事業」の三本の事業セグメントを軸に多角的な事業展開によるグループ成長に取り組んで参りました。しかし、東京五輪関連事業、国内企業の設備投資の一服及び新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の縮小による影響により、建設需要が減少し低調な荷動きとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、144億48百万円、営業利益2億71百万円、経常利益3億33百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1億59百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(内装建材事業)

内装建材事業は、開催を予定していた東京五輪関連の建設需要が一服し、民間の設備投資や住宅投資においても建設需要が減少した影響により荷動きが鈍い状況となりました。主に関東圏、中京圏での建設需要の減少の影響により低調な推移となりました。

この結果、売上高は63億34百万円、営業利益は2億6百万円となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業は、ハウスメーカーや外構工事業者向けにカーポートや物置、フェンスや石材等のエクステリア商品を販売しておりますが、当四半期においては、復興特需案件などが無く、業績に大きな動きはありませんでしたが、堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は59億89百万円、営業利益は2億56百万円となりました。

(住環境関連事業)

住環境関連事業は、住宅や環境に関わる商品群として、主に屋根工事・外装板金工事といった建設業者向けに商品の販売をしておりますが、当四半期においては、主力エリアである中部地区の工事案件が減少し、低調な荷動きとなりました。主にカラー鉄板・環境関連の工事案件が減少し、低調な荷動きとなりました。

この結果、売上高は21億24百万円、営業利益は67百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は173億27百万円となり、前連結会計年度末に比べて28億27百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が9億81百万円、受取手形及び売掛金が17億7百万円、電子記録債権が41百万円、投資その他の資産のその他が2億33百万円減少し、有形固定資産のその他が1億24百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は99億51百万円となり、前連結会計年度末に比べて29億6百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が20億88百万円、電子記録債務が1億85百万円、1年内返済予定の長期借入金が66百万円、未払法人税等が1億65百万円、流動負債のその他が1億72百万円、長期借入金が2億49百万円、役員退職慰労引当金が1億94百万円減少し、短期借入金が2億円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は73億75百万円となり、前連結会計年度末に比べて78百万円増加いたしました。これは主に、配当金の支払及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が78百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ、9億70百万円減少し、37億71百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、8億45百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3億33百万円、減価償却費48百万円の計上及び売上債権の減少17億51百万円の一方で、役員退職慰労引当金の減少2億3百万円、仕入債務の減少22億58百万円、その他による減少2億4百万円、法人税等の支払額2億91百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、1億9百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入1億60百万円、保険積立金の解約による収入3億17百万円の一方で、定期預金の預入による支出1億50百万円、有形固定資産の取得による支出1億68百万円、保険積立金の積立による支出51百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億34百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加2億円の一方で、長期借入金の返済による支出3億16百万円、配当金の支払額80百万円、非支配株主への配当金の支払額35百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で検討した結果、2020年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。しかしながら、新型コロナウイルス感染症に関して、経済活動の停滞に伴う実体経済への影響が強く懸念されます。業績予想への影響は現時点では見通すことは困難であるため反映しておりませんが、今後、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

[ご参考 2020年度(2020年12月期)連結業績見通し]

売上高	325億円
営業利益	7億円
経常利益	7億80百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	3億90百万円

(注) 上記連結業績見通しに関する注意事項

2020年度(2020年12月期)連結業績予想値は、現時点で入手可能な情報をもとに行った見通しであります。そのため、上記連結業績予想数値はこれらの要因の変動により大きく異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,175,692	4,194,209
受取手形及び売掛金	7,240,962	5,533,009
電子記録債権	632,986	591,897
商品	876,456	915,605
その他	127,126	126,069
貸倒引当金	△9,634	△6,258
流動資産合計	14,043,589	11,354,532
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,903,485	2,905,330
その他(純額)	757,353	881,805
有形固定資産合計	3,660,839	3,787,135
無形固定資産		
顧客関連資産	539,451	512,478
その他	53,081	48,495
無形固定資産合計	592,532	560,974
投資その他の資産		
その他	1,915,981	1,682,135
貸倒引当金	△58,310	△57,646
投資その他の資産合計	1,857,670	1,624,488
固定資産合計	6,111,043	5,972,598
資産合計	20,154,632	17,327,131
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,709,604	5,620,760
電子記録債務	1,070,908	885,749
短期借入金	170,000	370,000
1年内返済予定の長期借入金	566,710	499,980
未払法人税等	307,401	141,936
賞与引当金	90,710	101,720
役員賞与引当金	15,000	—
役員退職慰労引当金	9,785	—
その他	574,294	401,724
流動負債合計	10,514,414	8,021,870
固定負債		
長期借入金	1,520,863	1,270,873
役員退職慰労引当金	410,561	216,403
資産除去債務	25,647	25,862
その他	386,143	416,247
固定負債合計	2,343,215	1,929,385
負債合計	12,857,630	9,951,255

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,134	885,134
資本剰余金	1,316,174	1,316,174
利益剰余金	4,404,064	4,482,199
自己株式	△123,149	△123,439
株主資本合計	6,482,224	6,560,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,895	△3,158
その他の包括利益累計額合計	6,895	△3,158
非支配株主持分	807,882	818,964
純資産合計	7,297,002	7,375,875
負債純資産合計	20,154,632	17,327,131

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	14,448,247
売上原価	12,083,893
売上総利益	2,364,353
販売費及び一般管理費	2,092,967
営業利益	271,386
営業外収益	
受取利息	1,612
受取配当金	766
仕入割引	52,902
その他	20,350
営業外収益合計	75,631
営業外費用	
支払利息	3,017
売上割引	9,321
その他	1,015
営業外費用合計	13,353
経常利益	333,664
税金等調整前四半期純利益	333,664
法人税、住民税及び事業税	128,111
法人税等調整額	△2,548
法人税等合計	125,563
四半期純利益	208,101
非支配株主に帰属する四半期純利益	48,117
親会社株主に帰属する四半期純利益	159,983

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	208,101
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△10,054
その他の包括利益合計	△10,054
四半期包括利益	198,046
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	151,074
非支配株主に係る四半期包括利益	46,972

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	333,664
減価償却費	48,021
顧客関連資産償却額	26,972
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,010
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,039
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△203,943
受取利息及び受取配当金	△2,378
支払利息	3,017
売上債権の増減額(△は増加)	1,751,079
たな卸資産の増減額(△は増加)	△39,302
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,258,459
その他	△204,362
小計	△553,721
利息及び配当金の受取額	2,345
利息の支払額	△3,010
法人税等の支払額	△291,543
営業活動によるキャッシュ・フロー	△845,929
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△150,009
定期預金の払戻による収入	160,800
有形固定資産の取得による支出	△168,726
有形固定資産の売却による収入	3,719
無形固定資産の取得による支出	△2,518
投資有価証券の取得による支出	△1,020
貸付けによる支出	△700
貸付金の回収による収入	2,978
保険積立金の積立による支出	△51,895
保険積立金の解約による収入	317,065
その他	△400
投資活動によるキャッシュ・フロー	109,295
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000
長期借入金の返済による支出	△316,720
リース債務の返済による支出	△797
自己株式の取得による支出	△289
配当金の支払額	△80,360
非支配株主への配当金の支払額	△35,890
財務活動によるキャッシュ・フロー	△234,057
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△970,692
現金及び現金同等物の期首残高	4,741,718
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,771,026

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	内装建材事業	エクステリア事業	住環境関連事業	
売上高				
外部顧客への売上高	6,334,002	5,989,961	2,124,283	14,448,247
セグメント間の内部売上高又は振替高	307	7,602	—	7,910
計	6,334,309	5,997,564	2,124,283	14,456,157
セグメント利益	206,102	256,472	67,613	530,188

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	530,188
全社費用(注)	△258,802
四半期連結損益計算書の営業利益	271,386

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

当社グループは、前連結会計年度末より、株式会社アイシンの株式を取得し同社及び同社の子会社1社を子会社化したことに伴い、報告セグメントを従来の建設資材販売の単一セグメントから、「内装建材事業」、「エクステリア事業」、「住環境関連事業」の3区分に変更しております。なお、市場、顧客の種類及び製品の内容が概ね類似している事業セグメントを集約しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。